



サウンドバンク マニュアル

Version 1.5
JP 160303

ソフトウェア使用許諾 (EULA)

以下の規約を理解、承諾するまで、本製品の使用はお控えください。
本製品をお客様あるいはお客様が許可した方が使用することは、本規約に同意したことになります。

本エンドユーザーライセンス規約 (以下"EULA"または"本規約"といいます) は、お客様と UVI (所在地: 159 rue Amelot, 75011 Paris - France) の間で交されるUVIの作成したソフトウェア、書類およびその他のマテリアルの使用に関するライセンス規約になります。

本規約に同意しない場合は、直ちにUVI製品 (以下"本製品"と呼ぶ場合もあります) の登録、インストールもしくは利用を中止してください。

UVI製品の使用、あるいは第三者に使用許諾をした場合、本規約に同意するものとします。

A- ライセンス許諾

- UVIは以下の利用規約に基づき、お客様に本製品の非独占オーストライズドコピー使用権を許諾します。
- UVI製品のライセンスはシングルユーザーライセンスです。お客様の所有するコンピューターまたはiLokドングルに最大3台まで認証して使用することが可能です。
- ソフトウェアライセンスでは、第三者への賃貸または貸与する権利はありません。これらの行為は禁じられています。
- 本規約は、別項で記載する規定に該当しない限り、ソフトウェアライセンスを第三者に移譲、再販することが可能です。その際、iLokアカウントから"Transfer License"の手続き申請を行い、iLokライセンス管理をするPace社にライセンス移行手数料 (ライセンスごとに25米ドル、最大50米ドル) を支払います。その後、同社からの依頼を受けてUVIの承認と譲渡先へのシリアル移行を取り仕切ります。移譲後、元のライセンス登録は削除されます。iLokへの申請手続き、連絡は英語でおこないます。
- バンドルで入手した個々の製品、あるいは他の製品へのアップグレードやクロスグレードに使用した製品の再販およびライセンス移譲の認可はありません。
- 購入された製品に含まれているサウンドやサンプルは、追加ライセンス料の支払いやUVIへのソースアトリビュションを提供することなく、商用の制作、録音物に使用できます。
- 本規約は、再販もしくは配布利用の為に本製品を使用することを禁じます。その範囲は、他のディスクやデバイスに収録、再フォーマット、ミックス、混合、フィルター、再合成に及びます。サウンド、マルチサウンド、サンプル、マルチサンプル、ウェーブテーブルに組込むための編集行為、サンプラーやマイクロチップなどソフトウェア、ハードウェアを問わず、全てのサンプル再生装置のためのプログラムやパッチ編集も禁止事項に含まれます。本製品を他者が利用するサンプリングまたはサンプル再生デバイスの為の販売、あるいは配布することは出来ません。
- ライセンス違反が認められた時点で、本契約は終了します。その場合、コピーを含め、全てのUVIソフトウェアとドキュメントを速やかにUVIに返還しなければなりません。
- UVIの保有する全ての権利は、本書で明示していません。

B- ライセンス認証

- UVI製品の使用にあたり、シリアル番号の登録 (uvi.net/register) とデバイスのライセンス認証が必要です。UVIは、製品のライセンス認証にPace AP社のiLokシステムを採用しています。認証にiLokアカウントの取得とiLok License Manager (いずれも無料) も必要です。iLokアカウントは、シリアル番号登録時にUVIウェブサイトを通じて取得できます。iLok License ManagerはUVI WorkstationやFalconとともにインストールされます。UVI製品は、未登録、未認証の状態で使用することはできません。
- 製品シリアル番号の登録をする際、UVIデータベース上に登録されたお客様の姓名、メールアドレス、住所が必要です。未登録の場合、UVIアカウントを作成します。UVIは128ビット暗号化されたSSL接続の最新の通信保護規格を採用しています。お客様からの情報をウェブ経由で安全に当社サーバーに送ることが可能です。UVIの個人情報に関する扱いについてはこちらをご覧ください: <https://www.uvi.net/privacy-policy>
- UVI製品のライセンスは、最大で3つのiLokドングルもしくはコンピューターに認証して同時使用が可能です。ライセンス認証と解除は、専用ソフトウェアのiLok License Managerを通じて行います。

C- ソフトウェアの保護

お客様は、本製品にコピープロテクションが使用されていること、本製品を利用するにあたってコピープロテクションに関する操作を行うことに同意するものとします。お客様は、UVI によって実装されたコピープロテクション技術の回避、改造あるいは変更を加えないことに同意するものとします。

D- 所有権

本製品の所有権、封入されているデジタル記録された音の権利は、(いかなるコピーも) UVIによって保持されます。本製品のコピーは、本規約に基づいてお客様に提供されます。本製品のライセンス (ソフトウェアを利用する権利) のみがお客様によって購入されたものです。

E- 契約期限

この合意による契約期限は、本製品のパッケージの開封あるいは使用を開始し、終了するまで有効です。お客様がこの期限条件内に何かを破棄した場合、この契約は終了します。終了に際して、UVI に本製品のコピーおよび関連書類をすべて破壊し返却することで、契約の終了に同意するものとします。

F- 規制

本契約に基づく許可される場合を除き、本製品および関連書類の販売、リース、賃貸、ライセンス許可、配布、転送、複製、再プロデュース、公開、改造もしくはタイムシェアは禁じられています。

G- NFR (転売不可) シリアルと無料製品

シリアル番号に"NFR"の記載があるUVI製品のライセンス (以下"NFR"といいます) は、デモ、テストあるいは評価利用のために用意されています。NFRは商用利用不可で、転売、移譲をすることはできません。NFRにはアップグレード、クロスグレードなどの特別セールオフアーから除外されます。同様に関連したバウチャー (割引券) の発行を受け取ることもできません。さらにNFRの所有者は、商用バージョンの製品に同梱されているバウチャーを受け取る権利もありません。

無料製品はUVI、あるいはUVIと提携する第三者がプロモーション目的など、製品バンドル等の方法によって無料配布された製品 (ライセンス) を指します。無料製品は商用バージョンと同様、商用利用可能ですが、NFRライセンスと同様、転売、移譲をすることはできません。また、認証デバイスの破損等に関するライセンス復帰の対象外にもなります。"NFR"と記載された無料製品のライセンス規約は、無料製品の規約が優先されます。

H- サポート責務の免除

UVIは可能な限り、製品使用のための技術的な問題解決に努めます。ただし、UVIは追加情報、ソフトウェア、技術情報、ノウハウ、サポートを提供したり、利用できるようにする義務を負いません。

I- 仕様とシステム条件

本製品の技術仕様は、推定あるいは近似値で記載している場合があります。環境が千差万別であるため、これらの値は目安であり、互換性や動作を保証するものではありません。UVIは動作に必要な条件をすべてウェブサイト記載しています。エンドユーザーは、製品の購入前にエンドユーザーのデバイスがUVI製品のシステム条件を満たしていること、および該当製品がエンドユーザーの要件を満たしているを確認する責任を負います。

本規約はフランス共和国の法律に基づいて制定されています。解釈をするにあたって、英語版のEULAを使用します。
©2017 UVI. All rights reserved.
全ての登録商標はその権利帰属者の所有物です。

目次

イントロダクション	4
シグナルフローと機能概要	5
Classic と XL	6
操作画面	
グローバルとオシレーター	7
ピッチ、カラー、フィルターとアンプリチュード	8
ステレオとエフェクト	9
フレイザー	10
アルペジエーター	11
ステップモジュレーター	12
LFO モジュレーターとモジュレーションホイール	13
低 CPU モード(UltraMini LE)	14
プリセットリスト	
プリセット - Mono	15
プリセット - Poly	16
プリセット - Xtra 1.5	17
リンク	18
クレジットと謝辞	19

イントロダクション

素晴らしい初シンセ

「初めて」という言葉は、非常に魅力的で、一般の方なら初めてのキッス、初めてのおつかいなど連想されるでしょうが、シンセ弾きならば初めてのアナログシンセサイザーが思い浮かぶことでしょう。40年以上前に誕生したアナログシンセサイザーは、演奏しながら操作すること初めて実現し、加えてその魅力的な響きは40年以上経った現在でも、ライブやレコーディングで頻繁に使用されています。この最初の楽器は常に印象的で、時が経過してもそのことは色あせることはありません。

偉大なる功績

1971年から10年以上生産された最もポピュラーなシンセサイザーとして誕生したこの楽器は、音楽産業に残した功績は数知れず、現在もなおその存在は偉大です。特に設計においては、その後のシンセサイザーの設計のあり方に多大な影響を与えました。その魅力は、明快な操作性とサウンドのすばらしさがほぼ完璧なバランスでなりたっているところにあります。それは、シンセサイザーに精通していない人間でも、短い時間でその操作を理解できるほどシンプルで簡単です。さらに減算方式のシンセサイザーの基礎を知る教材としても最適です。

魅了してやまない楽器

手に届きやすい初めてのシンセサイザーとしても魅力であったこのアナログシンセは、直観的な操作で簡単にすばらしい音色を出せるところも、多くの支持を得た理由の1つでした。UVIの開発チームは、音のみならず、設計やコンセプトまでその魅力を徹底的に研究し、サウンドや質感、操作性などすべてを継承したソフトウェアシンセサイザーの開発に着手しました。

ハイブリッドモンスターの心臓部

ハイブリッド インストゥルメントは、UVIの特徴であり、魅力の1つでもあります。高品質のサンプリング波形を用いることで、その楽器の持つ特徴：本物の回路、本物のメカニズムから生まれた音色そのものを扱うことができます。この忠実でピュアなサウンドに、高精度のフィルターやエフェクト処理をすることで、高い表現力とサウンドコントロールを実現します。加えて、CPUリソースの消費も必要最小限に抑えられる利点があります。このアプローチに従って、開発されたUVIエンジン™です。UltraMini は、時間をかけて丹念にマルチサンプリングされた膨大な数の波形と先進的なDSP処理が融合した、新世代のソフトウェアシンセサイザーです。

2つのアナログシンセ

UVIは、素晴らしいコンディションに整備された、1971年製のモデルの収録から開始しました。すべての鍵盤とオシレーターを丹念にサンプリングし、加えていくつかのオーバードライブ設定でも同様にすべてを収めました。UltraMini は、実機と同じ3オシレーター構成によって、分厚い印象的なサウンドを生み出します。さらに、このシンセサイザーを継承した2002年に生まれの機種にも着目し、2011年に限定生産されたモデルを同様の手法で、そのワイルドなキャラクターを完全収録しました。

UltraMiniは、2つの完全独立したインストゥルメントと、個別の操作画面を用意することで、ビンテージとモダンの両方のモデルを明確に扱うことができます。新旧2つのアナログシンセの魂を宿したソフトウェアシンセサイザー、それが UltraMini なのです。

ミニを超えて

オシレーターは、このシンセの魅力の一部です。フィルターも注目すべき要素です！

ご心配は無用です。UltraMiniには、アナログモデリングのXpanderフィルターを2基も装備します。これらのアグレッシブなフィルターによって、甘いアナログサウンドと卓越したコントロールを実現します。

更に追加機能として、アンプリチュードとフィルター、キーフォロー、制限の無い発音数、モノリトリー、オシレーターごとのアンプリチュード、ステレオ、カラーとドライブコントロール、ビットクラッシャー、フェイザー、ディレイ、リミッター、先進的で積極的なサウンドデザインを可能にしたリバーブ：SparkVerb、オシレーターごとに設定可能なフレイザーとアルペジエーター、ステップとLFOモジュレーションを装備します。これらの機能を駆使して作成されたプリセットも多数用意されています。

UltraMiniの魅力は印象的で豊かなサウンドだけではありません。エレガントな操作画面は、実機の操作設計を継承した明快なインターフェイスで、ハードウェアの持つ直観操作を実現します。

アナログシンセマニアはもちろんのことスタジオ導入を検討中の方も UltraMiniは見逃せない一品です。豊富なプリセット、忠実なサウンド、進化した機能、その魅力は尽きることがありません。

さあ、はじめましょう！



v1.5の新機能

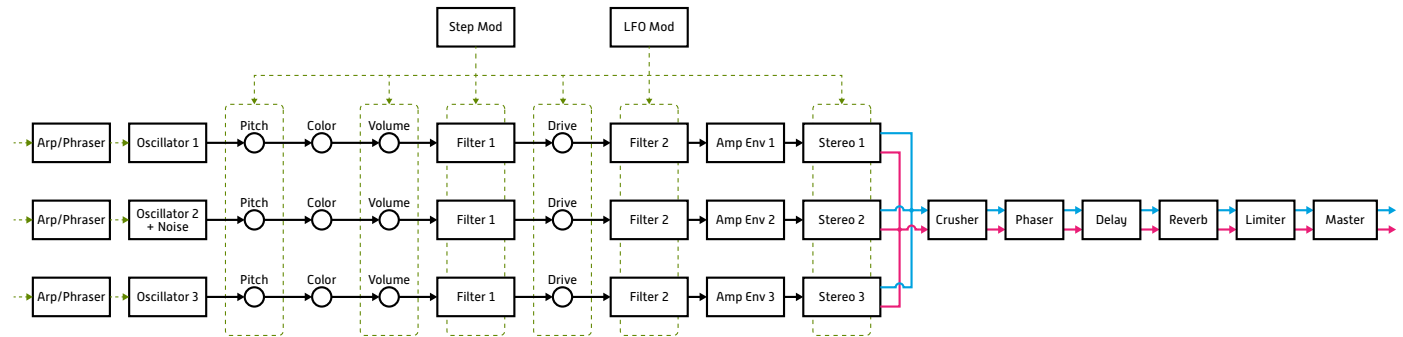
- ・ 200以上の新しいファクトリープリセット
- ・ PCベースの認証システム (iLokキー不要)
- ・ 低CPUモード (UltraMini LE)

最低システム条件：

- ・ UVI Workstation 2.6以降またはFalcon 1.0以降
- ・ 2GB以上の空きディスク容量

インストールとオーソライズに関する詳しい情報は[サウンドバンクインストールガイド](#)をご覧ください。

シグナルフローと機能概要



UltraMINI シグナル図

機能概要

UltraMINIは3+1オシレーター構成の減算方式のシンセサイザーで、モノ/ポリ発音が切替え可能です。そのベースはUVI Engine™と2つのハードウェアシンセ:Minimoog(1971年と2011年モデル)から慎重に収録したサンプル波形から形成されています。

オシレーターはそれぞれオクターブスイッチ、6つのベース波形セレクター、アンプリチュード、ドライブ、カラー、パン、オーバードライブコントロールを装備します。オシレーター2と3には範囲が±7セミトンの連続可変デチューンが加わります。更に独立したノイズジェネレーターがオシレーター2に追加されます。ノイズジェネレーターから発せられたピンクまたはホワイトノイズはオシレーター2の波形と並行してアンプリチュードやフィルターに送られます。

UltraMINIは幾つかの発音モード:モノポルタメント、モノポルタメント2、ポリフォニックを選ぶことができます。グローバルピッチコントロールはグライド(ポルタメント)効果の設定:タイムとピッチデプスに従って動作します。

3つのアプリチュードフィルターは一般的なADSRによるエンベロープでコントロールされます。これらの設定は独立または一括して操作することができます。[NO VEL] スイッチは入力されたベロシティ値を無視して128の固定値で発音をコントロールします。[VEL > ATK] スイッチはアタックパラメーターの設定値を無効にし、入力されたノートベロシティでコントロールをします。

Xpanderフィルターは並列動作し、ローパス、バンドパス、ハイパスのモード選ぶことができます。どのフィルターにもADSRエンベロープとデプス、ベロシティコントロールが装備されています。フィルターは独立または一括して操作することが可能で、個々にバイパススイッチも備えられています。更にリニアキーフォローもフィルターとアンプリチュードの両方に用意されています。

ステレオコントロールはオシレーターごとに装備します。デフォルトではオシレーターの信号をステレオのどの位置にも定位することができます。[ALT] コントロールはステレオ定位の逆転に使用します。[ALT] 設定は[Spread] コントロールと連動し、センターからの広がり进行操作します。(0=センター、10=フルワイド)

出力の最終段にはSparkVerbなど様々な有用なエフェクトが装備されています。これらのエフェクト:ビットクラッシャー、フェイザー、ディレイ、リバーブ、リミッターは直列で処理されます。

アルペジエーターとフレーザーはオシレーターごとに用意されています。この2つの機能は同時に使用することはできません。アルペジエーターをオンにした場合、フレーザーは自動でオフになります。この両方とも同じように分解能、グループ、ステップ数(最大16)を設定することが可能です。フレーザーは演奏したものをその場で記憶する際に便利です。

ステップとLFOモジュレーターもオシレーターごとに用意され、ボリューム、パン、ピッチ、ドライブとフィルターカットオフに作用します。レガートモードはステップモジュレーターのディレイ、ライズ、スムーズコントロールに作用し、LFOモジュレーターのアタック、ディケイ、デプスコントロールに作用します。

オリジナルの音色はUVI WorkstationのマルチまたはFalconのプログラムとして保存できます。プラグインとして扱う場合、その設定はDAWのプロジェクトファイルに含まれます。

新旧2モデルの違い

UltraMINIはClassicとXLの2モデルを用意しています。(右の画面参照) Classicモデルはブラックパネルとサイドウッドのレトロロックで、XLモデルは白を基調としたモダンな雰囲気の間接操作画面になっています。この2つのインストゥルメントは見た目とルーツとなるサウンド以外、同じパラメーターと配置に仕上げられていますので、片方を操作を習得すればもう片方も扱えるようになります。

UltraMINIは1971年ビンテージモデルと2011年モデルの2つのアナログシンセを丹念に収録したサンプルをベースにしています。サンプルを使用することは、インストゥルメントに実機の持つ特別な質感をもたらすことができる最良の手法です。オリジナルモデルとそのリバイバルモデルは同じ音源ながら異なる質感を持ちます。新旧2バージョンのシンセを収録したことで、UltraMINIはビンテージとモダンアナログの2つの象徴的なサウンドを操ることができます。

似て非なる2つのサウンドと質感を生かすため、UVIは同じ設定のサウンドプリセットバンクをこの2つのシンセの両方に用意しました。このことでAB比較が可能になり、EQやフィルターではかば一できない楽曲にあわせた音色を実現します。

この2つのシンセをお好みや場面にあわせてご活用いただければ幸いです。



UltraMINI - Classic (1971年ベース)



UltraMINI - XL (2011年ベース)

操作画面 - グローバルとオシレーター (OSC)



グローバルコントロール

1 ▶ マスターボリューム (VOLUME)

UltraMINI全体の音量を設定します。(0~100)

2 ▶ プリセット (PRESET)

プリセットの選択と表示をします。クリックするとリストが表示されます。◀と▶の2つのボタンはプリセットの切替に使用します。

3 ▶ 画面 (ページ) 切替

これらのスイッチをマウスクリックすることで、操作画面: OSC/ENV/EFX/PSR/STEP/LFOの切替をします。

オシレーターコントロール

4 ▶ オクターブレンジ (RANGE)

オシレーターごとのオクターブレンジを設定します。(±2オクターブ)

5 ▶ オシレーター波形 (WAVEFORM)

オシレーター波形を設定します。

6 ▶ デチューン

オシレーター2と3のデチューン (音程の微調整)をおこないます。(±7セミトーン)

7 ▶ ボリューム (VOLUME)

オシレーターボリュームを調節します。(0~100%)

8 ▶ オシレーターバイパス (ON)

オシレーターのオン・オフをおこないます。

9 ▶ ドライブ (DRIVE)

オシレーターごとの歪み量を設定します。

10 ▶ ノイズバイパス (ON)

ノイズジェネレーターのオン・オフをおこないます。

11 ▶ ノイズボリューム (NOISE)

ノイズジェネレーターの音量を設定します。(0~100%)

12 ▶ ノイズタイプ (WHITE/PINK)

ノイズジェネレーターの種類: ホワイトまたはピンクを設定します。

13 ▶ オーバーロード (OVERLOAD)

オシレーターごとの歪みの種類選択します。なし (NONE) / ソフト (SOFT) / ミディアム (MED) / ハード (HARD)

操作画面 - ピッチ、カラー、フィルター、アンプ(ENV)



ポリフォニーモード

1 ▶ モードスイッチ

シンセ全体の発音モードを設定します。
モノポルタメント(MONO)/モノポルタメント2(MONO 2)/モノリトリガー(RETRIGGER)/ポリフォニック(POLY)

ピッチコントロール

2 ▶ グライド(GLIDE)

- » デプス(DEPTH)
グライドピッチを設定します。(±24セミトーン)
- » タイム(TIME)
グライドタイムを設定します。(0~10)

ティンバーコントロール

3 ▶ カラー(COLOR)

オシレーターごとのティンバー(音色)を調節します。(±24)

フィルターコントロール

4 ▶ フィルターバイパス(ON)スイッチ

5 ▶ フィルタースイッチ

エディット対象のフィルター選択に使用します。
(ALL / 1 / 2)

6 ▶ フィルターコントロール

- » カットオフ(CUTOFF)
カットオフ周波数を調節します。(20~20kHz)
- » レゾナンス(RESONANCE)
レゾナンス量をコントロールします。(0~100%)
- » エンベロープデプス(EG DEPTH)
フィルターエンベロープの深さを調節します。(±1)
- » ベロシティ(VELOCITY)
ベロシティ感度を調節します。(0-100%)
- » キーフォロー(LINEAR KEY FOLLOW)
キーポジションのレゾナンスに対する適応量を調節します。(0-200%)

7 ▶ フィルターエンベロープ

選択されたフィルターエンベロープ:アタック、ディケイ、サステイン、リリースを調節します。

8 ▶ フィルターモード

マルチモードフィルター:ローパス(LP)、バンドパス(BP)、ハイパス(HP)の種類を選択します。

アンプリチュードコントロール

9 ▶ ノーベロシティ(NO VEL)

すべてのノートベロシティが最大に設定されます。

10 ▶ ベロシティ > アタック(VEL > ATK)

アタックがノートベロシティに応じてダイナミックに設定されます。

11 ▶ キーフォロー(KEY FOLLOW)

キーポジションの音量に対する適応量を調節します。(±1)

12 ▶ アンプスイッチ

エディット対象のオシレーターアンプリチュード選択に使用します。(ALL / 1 / 2 / 3)

13 ▶ アンプエンベロープ

選択されたアンプエンベロープ:アタック、ディケイ、サステイン、リリースを調節します。

操作画面 - ステレオとエフェクト (EFX)



ステレオコントロール

1 ▶ パン(PAN)

オシレーターごとのステレオ定位を設定します。
(L~C~R)

2 ▶ オルタネイト(ALT)スイッチ

打鍵の度に発音のステレオ定位を反転します。
(オシレーターごと)

3 ▶ スプレッド(SPREAD)

ステレオ定位の広がり調節します。
(0~100%)

エフェクト

4 ▶ ビットクラッシャー(BIT CRUSHER)

- » バイパス(ON)スイッチ
- » ビット(BITS)
ビットリダクションを設定します。(1~24bit)
- » フリクエンシー(FREQ)
サンプルレートリダクションを設定します。
(2~48kHz)
- » ドライブ(DRIVE)
歪み量を設定します。(0~100%)

5 ▶ フェイザー(PHASER)

- » バイパス(ON)スイッチ
- » シンク(SYNC)スイッチ
テンポ同期を有効にします。
- » スピード(SPEED)
フェイザーのスピード(レート)を設定します。
(SYNCオン=1/32~1/2, オフ=0~10Hz)
- » デプス(DEPTH)
エフェクトの適応量を設定します。(0~100%)
- » フィードバック(FEEDBACK)
フィードバック量を設定します。(0~100%)

6 ▶ ディレイ(DELAY)

- » バイパス(ON)スイッチ
- » ミックス(MIX)
ディレイバランスを調節します。(0~100%)
- » ディレイタイム(TIME)
ディレイタイムを設定します。(1/16tri~1/2)
- » フィードバック(FEEDBACK)
フィードバック量を設定します。(0~100%)
- » カットオフ(CUTOFF)
カットオフ量を設定します。(LP~オフ~HP)
- » スプレッド(SPREAD)
エフェクトの広がり量を設定します。(±100%)

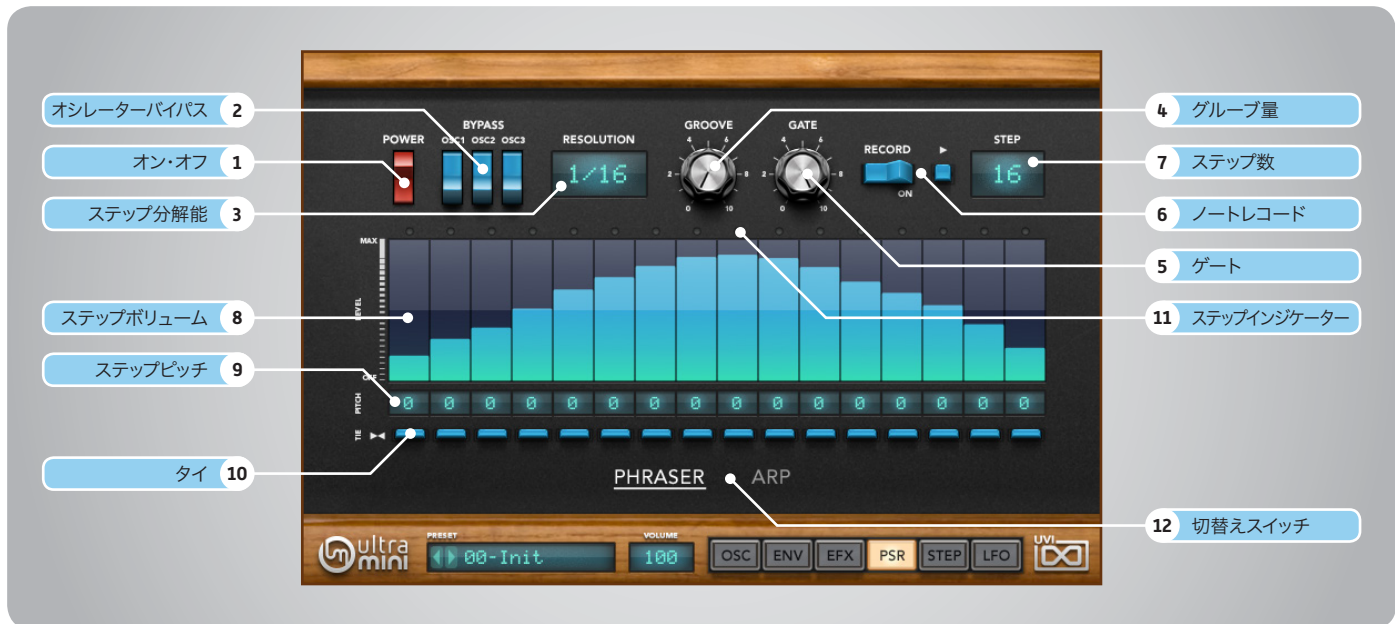
7 ▶ リバース(SPARKVERB)

- » バイパス(ON)スイッチ
- » ミックス(MIX)
リバースバランスを調節します。(0~100%)
- » サイズ(SIZE)
リバースサイズを設定します。
(4m/0.4s~50m/5s)
- » ディケイ(DECAY)
ディケイタイムを設定します。(0.5s~50s)
- » ローディケイ(LO DECAY)
低域のディケイを調節します。(x0.1~x10)
- » ロックロスオーバー(XOVER)
低域の帯域を設定します。(10Hz~1kHz)
- » ハイディケイ(HI DECAY)
高域のディケイを調節します。(x0.1~x10)
- » ハイクロスオーバー(XOVER)
高域の帯域を設定します。(12kHz~20kHz)

8 ▶ リミッター(PHASER)

- » バイパス(ON)スイッチ
- » スレッシュホールド(THRESH)
リミッターの動作レベルを設定します。
(-20~0dB)

操作画面 - フレーザー (PSR)



フレーザーコントロール

1 ▶ オン・オフ (POWER)

フレーザーのオン・オフをします。フレーザーをオンにした場合、アルペジエーターは自動でオフになります。

2 ▶ オシレーターバイパス (BYPASS)

オシレーターごとののオン・オフをします。

3 ▶ ステップ分解能 (RESOLUTION)

フレーザーのステップ分解能 (細かさ) を設定します。(1/32 ~ 1/2)

4 ▶ グループ量 (GROOVE)

グループの適応量を設定します。(1 ~ 100%)

5 ▶ ゲート (GATE)

ゲートの適応量を設定します。(1 ~ 100%)

6 ▶ ノートレコード (RECORD)

- ▶ レコードスイッチ (ON)
フレーザーのレコーディングモードをオンにします。ピッチシーケンスのプログラミングを手早くおこなうことができます。
- ▶ ステップスキップ (▶)
レコードステップを1つ飛ばします。

7 ▶ ステップ数 (STEP)

モジュレーターのステップ数を設定します。(1 ~ 16)

8 ▶ ステップボリューム (LEVEL)

ステップの音量を調節します。

9 ▶ ステップピッチ (PITCH)

ステップの音程を調節します。(±48セミトーン)

10 ▶ タイ (TIE) スイッチ

前のステップとタイ (スラー) を設定します。

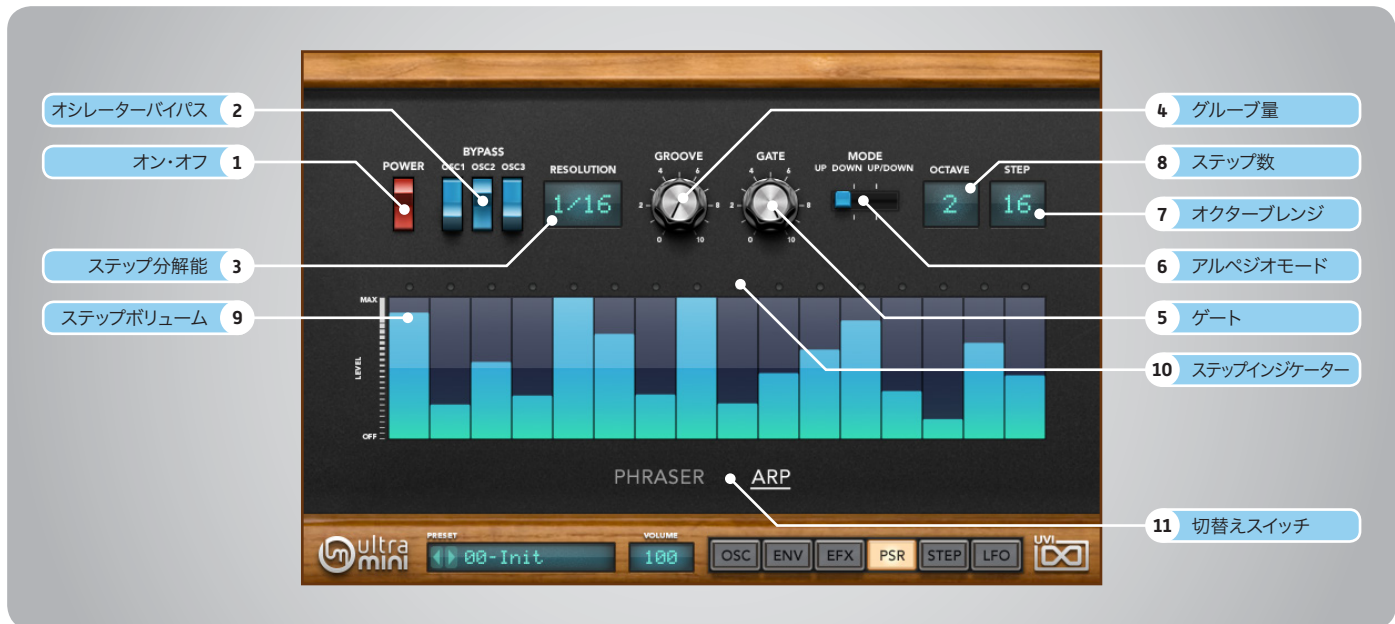
11 ▶ ステップインジケーター

LEDライトが再生中のステップをあらわします。

12 ▶ 切替えスイッチ (PHRASER/ARP)

画面表示: フレーザーとアルペジエーターの切替えをします。
(この操作で動作モードが切り替わることはありません。)

操作画面 - アルペジエーター (PSR)



アルペジエーターコントロール

1 ▶ オン・オフ (POWER)

アルペジエーターのオン・オフをします。アルペジエーターをオンにした場合、フレーザーは自動でオフになります。

2 ▶ オシレーターバイパス (BYPASS)

オシレーターごとののオン・オフをします。

3 ▶ ステップ分解能 (RESOLUTION)

アルペジエーターのステップ分解能 (細かさ) を設定します。(1/32~1/2)

4 ▶ グループ量 (GROOVE)

グループの適応量を設定します。(1~100%)

5 ▶ ゲート (GATE)

ゲートの適応量を設定します。(1~100%)

6 ▶ モード

アルペジエーターの再生モードを設定します。アップ (UP) / ダウン・アップ (DOWN-UP) / ダウン (DOWN)

7 ▶ オクターブレレンジ (OCTAVE)

アルペジエーターのオクターブ範囲を設定します。(±6オクターブ)

8 ▶ ステップ数 (STEP)

モジュレーターのステップ数を設定します。(1~16)

9 ▶ ステップボリューム

ステップの音量を調節します。

10 ▶ ステップインジケーター

LEDライトが再生中のステップをあらわします。

11 ▶ 切替えスイッチ (PHRASER/ARP)

画面表示: フレーザーとアルペジエーターの切替えをします。(この操作で動作モードが切り替わることはありません。)

操作画面 - ステップモジュレーター (STEP)



ステップモジュレーター コントロール

1 ▶ ステップレベル

ステップのパラメーターへの適応量を調節します。(-1~+1)

2 ▶ ステップ数(STEP)

モジュレーターのステップ数を設定します。(1~16)

3 ▶ ステップ分解能(RESOLUTION)

モジュレーターのステップ分解能(細かさ)を設定します。(1/32~1/2)

4 ▶ モード

ステップモジュレーターの再生モードを設定します。
リトリガー (RETRIG)、リトリガーオフ (NO RETRIG)、レガート (LEGATO)

5 ▶ レガートコントロール

モードを「レガート」に設定した際に機能します。

- » **ディレイ (DELAY)**
ディレイタイムを調節します。(0~10秒)
- » **ライズ (RISE)**
ライズタイムを調節します。(0~10秒)
- » **スムーズ (SMOOTH)**
スムーズさ(ステップ補完値)を調節します。(0~100%)

6 ▶ フィルター1 (FILTER1)

- » フィルターカットオフへのステップモジュレーター適応量を調節します。(-1~+1)
- » オン・オフ (ON) スイッチ

7 ▶ フィルター2 (FILTER2)

- » フィルターカットオフへのステップモジュレーター適応量を調節します。(-1~+1)
- » オン・オフ (ON) スイッチ

8 ▶ ボリューム (VOLUME)

- » 音量へのステップモジュレーター適応量を調節します。(0~100%)
- » オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

9 ▶ パン (PAN)

- » パンへのステップモジュレーター適応量を調節します。(0~100%)
- » オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

10 ▶ ピッチ (PITCH)

- » ピッチへのステップモジュレーター適応量を調節します。(-1~+1)
- » オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

11 ▶ ドライブ (DRIVE)

- » 歪みへのステップモジュレーター適応量を調節します。(0~100%)
- » オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

操作画面 - LFOモジュレーターとモジュレーションホイール(LFO)



LFOモジュレーション

1 ▶ LFO波形スイッチ

LFO波形:サイン、三角、矩形、サンプル&ホールドの選択をおこないます。

2 ▶ LFOスピード(SPEED)

LFOスピードを設定します。
SYNCオン= $4x \sim 1/32$, オフ= $0.18 \sim 15\text{Hz}$

3 ▶ シンク(SYNC)

LFOスピードのテンポシンクをオン・オフします。

4 ▶ モード

LFOの再生モードを設定します。
リトリガー (RETRIG)、リトリガーオフ (NO RETRIG)、レガート (LEGATO)

5 ▶ レガートコントロール

モードを「レガート」に設定した際に機能します。

- ▶ **アタック (ATTACK)**
ディレイタイムを調節します。(0~10秒)
- ▶ **ディケイ (DECAY)**
ライズタイムを調節します。(0~30秒)
- ▶ **エンベロープデプス (EG DEPTH)**
スムーズさを調節します。(-1~+1)

6 ▶ フィルター1 (FILTER1)

- ▶ フィルターカットオフへのLFO適応量を調節します。(-1~+1)
- ▶ オン・オフ (ON) スイッチ

7 ▶ フィルター2 (FILTER2)

- ▶ フィルターカットオフへのLFO適応量を調節します。(-1~+1)
- ▶ オン・オフ (ON) スイッチ

8 ▶ ボリューム (VOLUME)

- ▶ 音量へのLFO適応量を調節します。(-1~+1)
- ▶ オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

9 ▶ ピッチ (PITCH)

- ▶ ピッチへのLFO適応量を調節します。(-1~+1)
- ▶ オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

10 ▶ パン (PAN)

- ▶ パンへのLFO適応量を調節します。(0~100%)
- ▶ オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

11 ▶ ドライブ (DRIVE)

- ▶ 歪みへのLFO適応量を調節します。(0~100%)
- ▶ オン・オフスイッチ (オシレーターごと)

モジュレーションホイール

12 ▶ フィルター (FILTER)

- ▶ フィルターカットオフへのモジュレーションホイール操作適応量を調節します。(-1~+1)
- ▶ オン・オフ (ON) スイッチ

13 ▶ ビブラート (VIBRATO)

- ▶ モジュレーションホイール操作した際のビブラート量を調節します。(0~100%)
- ▶ オン・オフ (ON) スイッチ

14 ▶ トレモロ (TREMOLLO)

- ▶ モジュレーションホイール操作した際のトレモロ量を調節します。(0~100%)
- ▶ オン・オフ (ON) スイッチ

低CPUモード (UltraMini LE)

CPUリソースの軽減策

UltraMINIのオシレーターは大量のマルチサンプルを使用するため、CPUリソースは主に2つのハイクオリティマルチモードフィジカルモデリングフィルターに費やされます。いくつかの環境下、特にポリモード、大規模なセッション、あるいはラップトップで使用した場合にCPUパワー不足に陥る可能性があります。

CPU不足になるケースに備えて、CPUリソースの消費を軽減したライト (LE) バージョンのUltraMINIを用意しました。UltraMINI LEは操作上、フィルターモードが制限されている以外通常バージョンと変わりありません。(右の画像参照)このフィルターセクションのCPU効率を最適化したバージョンはフルバージョンとのサウンドの違いを最小限に抑えながら、より多くのパート、インスタンスを多くの同時に使用できるように仕上がられています。

UltraMINI LEはサウンドクォリティーを維持しながらCPU効率を下げるために手段として、通常のバージョンのマルチモードフィルターを廃し、一般的なローパスフィルターを採用しました。このことでサウンドの透明感に若干の変化をもたらします。特にフルバージョンでバンドパスやハイパスフィルターを使用している音色プリセットはその変化をハッキリと確認できます。もし、LEバージョンに切り替える場合、フルバージョンの音色とのフィルターの動作の違いを確認してから決定することをおすすめします。またLEバージョンはライブラリーの読み込み速度の向上も図られています。

LEバージョンのプリセットはUltraMINIのライブラリー：UltraMini.ufsのLE Presetsの項目にあります(右の画像参照)

もし、LEバージョンがブラウザーに表示されていない場合、UVIウェブサイトの「マイプロダクト」から最新版のUFSをダウンロードしてください。(マイプロダクトはUVIAカウントにログイン後に表示されます)



UltraMINIのフィルターセクション

上の画像 = スタンダードバージョン、下の画像 = LEバージョン、ローパスフィルターのみ



UltraMINI LE は LE Presetsの項目から選ぶことができます

プリセットリスト - Mono

Mono Presets

[Classic and XL]

00 - Init

Arpeggios

ARP - 101 Clean Decay MK
 ARP - 101 Clean Short MK
 ARP - Axial Tracer
 ARP - Bass Reflector MK
 ARP - Circuit Symp One
 ARP - Count Down
 ARP - Crystalizer
 ARP - Engine Starter
 ARP - Inversions
 ARP - Melancolie
 ARP - Popped Stitch
 ARP - Rail Jumper
 ARP - Slow Elephants
 ARP - Speak n Spell CS
 ARP - Spiral
 ARP - Tangerine One
 ARP - Telephony
 ARP - Three Storms
 ARP - Vintage Pincer
 ARP - Warm Panner
 ARP - Z Banana Factory

Bass

BS - 3 Oct Sub Click MK
 BS - 3 Oct Sus MK
 BS - Argentum
 BS - Bloom Tender
 BS - Broken Bass
 BS - Droid Crooner Wheel MK
 BS - Drone Step

BS - Hard Gristle
 BS - Hive Mind
 BS - Hollow Sus MK
 BS - I Am In Charge
 BS - Light Hollow MK
 BS - Mango Wheel
 BS - Melodic MK
 BS - Obee Boo
 BS - Phassty
 BS - Saw Tri MK
 BS - Shinra Generator
 BS - Short Bass CS
 BS - Soft Funk MK
 BS - This is D Mode
 BS - Tracer Wheel
 BS - Ultra Wet
 BS - Very Low
 BS - Video Game Sub
 BS - Z Ball Dad

FX / Sound Design

FX - Broken Lead
 FX - Daisy Grain
 FX - Major Feeling
 FX - Mini Arcade
 FX - Minor Glitch
 FX - OSC Kick CS
 FX - Sonar Scan
 FX - Steam CS
 FX - Subsonic Devastator
 FX - Sweep my Wheel
 FX - Well Know One

Lead / Solo

LD - Big Short Lead
 LD - Cliffs
 LD - Cool Perfection CS

LD - Dark Choir
 LD - Dragon Totem
 LD - Endless Dawn
 LD - Evolead
 LD - Gryphic Solo
 LD - HPF Lead CS
 LD - Hybridation
 LD - Lead Hollow MK
 LD - Leading To Heaven
 LD - Little Cake
 LD - Love Me Funk
 LD - Mini Saw Lead
 LD - Multi Charger
 LD - Nasty Tremowheel
 LD - No Warning
 LD - Phone Lead
 LD - Raw Funk
 LD - Robotik
 LD - Smooth Solo
 LD - So Funky
 LD - Solo Axis
 LD - Synth Hero
 LD - Talking Fat
 LD - The Last Whaal
 LD - Turbo Charged

Monophonic Phraser

PHR - Bass Magnetic
 PHR - DG Havana
 PHR - Electric Pirate
 PHR - Fine AL
 PHR - Finish Him
 PHR - Gullfire
 PHR - Hell Fusion
 PHR - I Am Moustachu
 PHR - Lydian
 PHR - Noisy Bass Line

PHR - One Again
 PHR - Phrase Min7 MK
 PHR - Phraser Crew
 PHR - Rubber Bandit
 PHR - Substructure
 PHR - The Earth Quake
 PHR - WheelLocomotion

Short Sequence

SEQ - Almost 8bit
 SEQ - Cop Porn
 SEQ - Little Mouse
 SEQ - Short Soft
 SEQ - VEElectonica
 SEQ - You Vee Hi

プリセットリスト - Poly

Poly Presets (Classic and XL)

00 - Init

Analog Strings

STR - Big Triple
STR - Chunky Strings
STR - Full Phase Strings MK
STR - Mellow Strings
STR - Pure Old Analog
STR - Slow JMJ
STR - Strings Plain MK
STR - Strings Slow MK

Bass

BS - Bass The Dog MK
BS - Comp Attack MK
BS - Fusion MK
BS - Jazz in the Box MK
BS - Warm Attack

Poly Synths

PL - Analog Bells
PL - Band Pass Stepper MK
PL - Brabass
PL - Brass 7th MK
PL - Brass 12 db MK
PL - Brass Oct MK
PL - Chord BP Stab MK
PL - Cosmic Forces
PL - Dawn Ascension
PL - Four Midable

PL - Future PPG CS
PL - Gryphic Poly
PL - Old School Game
PL - Raise to 7th MK
PL - Relax
PL - Rendez Vous
PL - SanzAnalog
PL - Sequensations
PL - Simple Funky
PL - Soft Bright on Wheel
PL - Sun Titan

Arpeggios

ARP - Alternator
ARP - Jah Wheel
ARP - Man On Tropo
ARP - Nostalgia
ARP - Space Analog Piano
ARP - Space Dust MK
ARP - Sparkle Steps MK
ARP - Zodiac

Pads

PD - 2nd ENV Trigger MK
PD - 7th Random MK
PD - 70s Haunting MK
PD - Air Tin Teeter
PD - Arc Drops Move
PD - Baked Phalanges
PD - Bell and Dawn
PD - Dark Wheel Sweep
PD - Future Passed CS
PD - Lo Fox
PD - Male Choir MK
PD - Rocking Chair

PD - Silver Ramper
PD - Step eWHEELution
PD - Sweep Alien Zone
PD - Wheel Done
PD - Accumulator

Keyboards Sounds

KB - Analog Dub
KB - Cat Keys MK
KB - Church Analog
KB - Dream Analog Keys
KB - Lead Chords
KB - Medievaling
KB - Mini Wurli
KB - MKlavinet
KB - Organ Chapel MK
KB - Organ Dirty 5th MK
KB - Organ Perc MK
KB - Organ Soft 1 MK
KB - Organ Soft 2 MK
KB - Perc Keys MK
KB - Perfect Keys CS
KB - Pianolution
KB - Porta Sine
KB - Pure Beauty Keys
KB - Sine Keys MK
KB - Stellar Paradise
KB - Stepped Keys
KB - Synth Harpsychord
KB - Synth Keys
KB - The Lee Crew

FX / Sound Design

FX - Chrome Throat
FX - Crazy Melodic

FX - Destroy Strum
FX - Fire Mares
FX - Flutter
FX - Ghosted
FX - Inside UFOs
FX - Quino Polygon
FX - Soft Film Emitter
FX - Stack em High

Miscellaneous

MSC - Guitar Jazzy MK
MSC - Nate Bells
MSC - Space Marimba
MSC - Step Timelapse
MSC - The Voice and the Whistle
MSC - Three Bells
MSC - Twelve Mellow

プリセットリスト - Xtra 1.5

New Presets

[Classic and XL]

00 - Init

Arpeggios

ARP-Abcess
ARP-Autolog
ARP-Bevel Key
ARP-Chaotic
ARP-Chiff Grit
ARP-Chopper
ARP-Circles
ARP-Flicksyn
ARP-LoBit
ARP-Lock In
ARP-Meat Bass
ARP-One
ARP-Perk Chords
ARP-Pulse Wah
ARP-Square Glue
ARP-Two

Bass

BS-Alive
BS-Antic
BS-Bodybass
BS-Dry Pass
BS-LoBit
BS-Mean Sus
BS-Portabit
BS-Raw Bass
BS-Triform
BS-Velocitize

Effects

FX-Chordmod
FX-Launch
FX-Mezmor

Keyboard Sounds

KB-Aggro Organ
KB-Bandit
KB-Cab Chord
KB-Ting Vibe

Lead/Solo

LD-Bit Skit
LD-Biting Slider 1
LD-Biting Slider 2
LD-Crunch Keys
LD-Diver Glide
LD-Energy Waver
LD-Finglide
LD-Fri Jam
LD-Glass Grinder
LD-Mean Rise
LD-Noisy Open
LD-Open Stack
LD-Rez AM
LD-Ring Rez
LD-Rogue
LD-Stained
LD-Vibrofade

Pads

PD-Dampen
PD-Softback
PD-Twist Phase

Phraser

PHR-Agent Red
PHR-Blue Chordline 1
PHR-Blue Chordline 2
PHR-Blue Chordline 3
PHR-Can Opener
PHR-Chord Mover
PHR-Creep

PHR-Crunchy Chip
PHR-Diver Glide
PHR-Diver
PHR-Drive Cycles
PHR-Drive Max
PHR-Fastlane
PHR-Fri Mod
PHR-Gut Slide
PHR-Insecticide
PHR-Jam Slider
PHR-Joom
PHR-Little Beasty
PHR-Lo Aircrisp
PHR-Power Chord
PHR-Push
PHR-Ringer
PHR-Scream Bubble
PHR-Slide Pass LP
PHR-Slide Pass
PHR-Sub Crispy
PHR-TriOctane
PHR-Ups Bass
PHR-Whalk
PHR-Whip Squared
PHR-Wob Fly

Poly Synths

PL-Attacko
PL-Band Chord
PL-Bevel Key
PL-Blue Pluck
PL-Chord Me
PL-Fast Ambi
PL-Melodon
PL-Red Chord

Short Sequence

SEQ-Alive Auto
SEQ-Attacko
SEQ-Bodybass
SEQ-Gate Hollow

SEQ-Invert
SEQ-Rez Fry
SEQ-Softbit
STR-Stringmach

リンク

UVI

ホームページ	uvi.net/
サウンドバンクインストールガイド	installing_uvi_soundbanks_jp.pdf
UVI Workstation ユーザーマニュアル	UVIworkstation_UserManual_jp.pdf
登録済み製品の確認とダウンロード	uvi.net/my-products
FAQ(良くあるご質問とその回答)	uvi.net/faq
チュートリアルとデモビデオ	youtube.com/
サポート	uvi.net/contact-support

iLok

ホームページ	ilok.com/
iLok License Manager	ilok.com/ilm.html
FAQ(良くあるご質問とその回答)	ilok.com/supportfaq

*iLok.comのサービスは、全て英語のみです。



クレジットと謝辞

UVI プロデュース

レコーディング / 編集 / サウンドデザイン

Damien Vallet
Kevin Guilhaumou
Alain J Etchart
Michael Kastrup
Nathaniel Reeves
Oliver Davis

ソフトウェアとスクリプト

Olivier Tristan
Remy Muller

GUI デザイン

Nathaniel Reeves

ドキュメント

Nathaniel Reeves
Kai Tomita

謝辞

Michael Kastrup
Manu @ master-wave.com



UVI.NET